



ともに

教育長 津野庄一郎

関川小学校（伊藤彰校長）の作品展が18日（土）にありました。どの教室を回っても子どもたちの持ち味と日頃の学習の成果がよく表れており、素晴らしいと感じました。作品を見

て気付いたことがあります。それは「名前」です。どの子もサインペンで大きくしっかりと書いています。先生方が子ども一人一人を大事に、丁寧に指導していることが分かります。

さて、今年も残すところ2か月余り。4月にお示しした<関川村「保・小・中連携プログラム」>の中間評価の時期となりましたので、ご家庭で取り組んでいただく項目について、お子さんと一緒に振り返りをお願いいたします。（よくできた：◎、まずまずできた：○、あまりできなかった△、できなかった：×）

<学力の向上>

- よく観て、できたこと、やったことを認め、ほめる。□
- 地域や世の中のことを話題にする。□

<豊かな心>

- 親子で「おはよう」「ありがとう」などのあいさつを毎日かわす。□
- 他の子どもと比べず、自分のよさに目を向けさせる。□

<健康・体力の向上>

- SNS・ネット（ゲーム・動画等）利用のルールを決め守らせる。□
- 起床時間・就寝時間・家庭学習の時間を一定にする。（3点固定）□

<地域連携の推進>

- 親子で地域の行事に参加する。□
- 親子で地域のよいところを話す。□

いかがでしたでしょうか。なかなか簡単なことではありませんが、いずれも学習や生活の基盤となる大切な内容です。三日坊主の繰り返しでも構いませんので、ぜひ親子で一緒に取り組んでほしいと思います。

アメリカのドロシー・ロー・ノルトは、「子どもが育つ魔法の言葉」の中で、「誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ」「愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ」「認めてあげれば、子どもは自分を好きになる」と。逆に「けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる」「とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる」「叱りつけてばかりいると、子どもは自分は悪い子なんだと思ってしまう」と述べています。教職員も親も時に自分の言動を振り返りながら、子どもとともに成長していきたいものです。

<【写真】関川小学校6年生「わたしはデザイナー」テープカッターの作品群>